

# 県内の少年非行(平成30年5月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成29年は確定値、平成30年は暫定値である。

## 1 県内の非行少年等の概況

平成30年5月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は942人で前年同期(913人)に比べて29人(3.2パーセント)増加、不良行為少年は6,881人で、前年同期(12,995人)に比べて6,114人(47.0パーセント)減少している。

区分	年別	平成30年 5月末	平成29年 5月末	増減	
				人員	率(%)
非 行 少 年	犯罪少年	572	584	-12	-2.1
	触法少年	195	183	12	6.6
	計	767	767		
	特別法 犯	78	71	7	9.9
	触法少年	25	26	-1	-3.8
	計	103	97	6	6.2
	ぐ犯少年	72	49	23	46.9
合計	942	913	29	3.2	
不良行為少年		6,881	12,995	-6,114	-47.0

## 2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成30年5月末		平成29年5月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
刑法犯少年		767	100	767	100		
凶悪犯		8	1.0	5	0.7	3	60.0
粗暴犯		127	16.6	140	18.3	-13	-9.3
窃盗犯		426	55.5	448	58.4	-22	-4.9
知能犯		30	3.9	11	1.4	19	172.7
風俗犯		14	1.8	17	2.2	-3	-17.6
その他		162	21.1	146	19.0	16	11.0
うち占離		54	7.0	71	9.3	-17	-23.9

## 3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成30年5月末		平成29年5月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
総数		767	100	767	100		
未就学		1				1	
小学生		78	10.2	85	11.1	-7	-8.2
中学生		259	33.8	269	35.1	-10	-3.7
高校生		222	28.9	222	28.9		
その他学生		35	4.6	24	3.1	11	45.8
有職		111	14.5	115	15.0	-4	-3.5
無職		61	8.0	52	6.8	9	17.3

## 4 初発型非行の状況

区分	年別	平成30年5月末		平成29年5月末		増 人員	減 率(%)
		構成比(%)		構成比(%)			
総数		381	100	428	100	-47	-11.0
万引き		213	55.9	202	47.2	11	5.4
オートバイ盗		39	10.2	53	12.4	-14	-26.4
自転車盗		75	19.7	102	23.8	-27	-26.5
占有離脱物横領		54	14.2	71	16.6	-17	-23.9
刑法犯少年に占める率(%)		49.7	—	55.8	—	-6.1	ポイント

### ※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の14.8パーセント(前年同期比-1.2ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の55.5パーセントを占め、次いで粗暴犯の16.6パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(4,195人)と深夜はいかい(1,823人)が全体の87.5パーセントを占めている。